

今年度は、調査項目を質問形式で行ってみます。答えられるかな？



介護保険課認定係  
平成27年4月1日

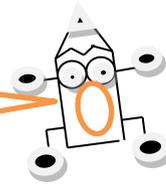
## 認定調査とつきクン通信 (H27第1号)

(H27年度は評価軸(3軸)「能力・介助の方法・有無」の再確認で通信内容を作成します)

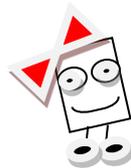
### 4-13 独り言・独り笑い「有無」

#### 質問

「独り言を言う・独り笑い」の特記事項の記載について、最も重要なものは次の3つのうちどれですか。



- 1・独り言・独り笑いの具体的な内容
- 2・日常生活上の支障を記載する
- 3・介護の手間と頻度を記載する



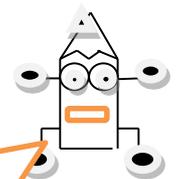
三択ね。えーと、**1番**の「独り言・独り笑いの具体的な内容」を聞き取って特記に書くかな？  
正解は？

#### 解説

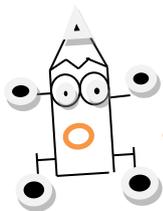
選択肢は「ある」「ない」の有無で判断する。

BPSD関連の調査項目は、その**有無**だけで介護の手間が発生しているかどうかは必ずしも判断できないため、介護の手間を適切に評価するには、特記事項にそれらの有無によって発生している**介護の手間**を、**頻度**も合わせて**記載する**ことが特記に最も重要。

ということで、正解は**3番**

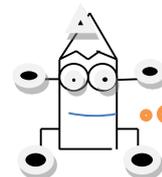


なるほどね。そっか、調査の時に独り言や・独り笑いがあるとされたら「どんな手間があるのか、頻度は」と確認しないと書けないよね。



もちろん、具体的な独り言を言う・独り笑いの内容は聞かないといけないよね。それに加えて**“もう一步踏み込んで介護の手間や頻度を聞き取る”**・**“場面や目的に照らし合せて”** どうなのかで判断する、ことが大事。

問い合わせを減らせるように、がんばるわ。



お願いしますね。